

# 支部だより

## 岩手県南支部

### 町役場に受賞報告

令和三年度春季善行表彰の人命救助で受賞した



「胆江日日新聞令和3年6月16日付」  
「胆江日日新聞社提供」

高橋司さんは、水路に転落し、助けを求めた女性を救助し、小原千春さんは、マラソン大会で心肺停止状態になった男性の救命措置を行ったとして、このほど町役場に高橋由一町長を訪ねて受賞報告をしました。一人は、今後同じような救助現場に遭遇した際は同様の行動を取りたい決意を示し、高橋町長は「とっさの判断で人命を助けていただいた。勇気があり、愛情をもって接する町民がいることに誇りを感じる」と謝意を伝えました。

## 東京都新宿支部

### 第二十回善行会杯・新宿区少年サッカー大会開催

#### 支部長 前田哲也

今秋は新宿区少年サッカー連盟と協力しての小学一年生と二年生の善行会杯は第二十回目になり、記念の年を迎えました。既に十六チームの対戦トーナメントは組まれ、九月中旬から新宿区内のグラウンドで開催されます。区内の数ある大会の中でも善行会杯は二十年の

歴史ある大会になりました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大の初年度のため、小学生二年生大会のみマスク着用で開催しましたが今年是一年生大会もありました。感染対策での試合はマスク着用で息苦しく交代も増えて関係者には大きな緊張もあります。選手の家族も応援にきたいと思えますが一人だけなど、グラウンドの出入口付近で混み合わないようなとの感染対策を

しています。新宿区サッカー連盟の運営するコーチは正に青少年育成に永年貢献している立派な方々です。更に協力し合って健全な安心安全の明るい街づくりをしていきたいと思っています。皆様応援よろしくお願いたします。



大捕文男様訪問伝達



宮本眞弓様訪問伝達



久利和子様訪問伝達

## 香川県支部

### 令和三年度特別善行表彰訪問伝達及び令和三年度総会の延期について

令和三年八月二十八日(日)宇多津町ホテルアネシス瀬戸大橋において、令和三年度特別善行表彰

八月二十五日特別善行表彰訪問伝達で西村一夫秀天支部長、北慎一副支部長が坂出市の大捕文男さん宅を訪問、表彰状を読み上げ金章を伝達、次に西村支部長・北副支部長・大捕副支部長兼事務局長が坂出市の宮本眞弓

さん宅を訪問、表彰状と銀章を伝達し和やかな雰囲気でした。続いて、九月二日特別善行表彰訪問伝達で西村支部長・大捕副支部長兼事務局長が善通寺市の久利和子さん宅を訪問、表彰状を読み上げ銀章を伝達しました。支部長は、受賞者に善行活動を積極的に続けられ、日本善行会のスローガンである明るい住みよい社会環境づくりに努められ、更に当香川県支部

## 愛媛県四国中央支部

### 松柏婦人会より心結ぶ「シトラスリボン」が贈られました

昨年来よりのコロナ禍で地域の「絆」が希薄になり、心と心の繋がりが失われつつあります。この様な状況の下で愛媛県では、昨年四月頃より「シトラスリボンプロジェクト」運動が始まり、人の心の優しさや



思いやりをあらゆる物品につける活動が、幅広く大きな波紋を拡げています。リボンの三つの輪は、『地域・家庭・職場(学校)』を表し、感染した方が、笑顔で「ただいま」「おかえり」って安心して戻ってほしいと願いを込め差別反対を訴える運動です。県下各地区それぞれの思考を巡らし、東西に広い愛媛県では様々な形物が生まれましたが、私達の四国中央市では、地元特産の水引を使ったシトラスリボンが多く、個人の団体で作られています。この様な中、市内の松柏婦人会 会員の皆さんで作成されたスト



## 大分県大分支部

### 文化遺産を守る団体「大分県民謡研究会」への支援協力

大分県民謡研究会「萬語会」は昭和三十二年一月に創立され、民謡ブームの昭和五十年、六十年代には会員数二千人を超える九州屈指の民謡団体として注目されています。活動の主目的は、大分県民謡の発掘及び普及活動であり、先人たちの受け継いだ文化遺産を現在に活用し、記録に

残し、記憶に残る舞台発表を継続している団体です。その功績が認められ、平成十八年に県知事文化功労賞、平成二十三年には文部科学大臣表彰を受賞されています。これまでの発掘民謡・新作民謡は二百曲を超え、その内の百二十曲は、文化庁の助成事業として大分県民謡譜集五巻(五線譜、三味線譜、尺八譜)に纏められ、CD化して全国の図書館等に贈呈されています。創立六十五周年記念特別公演はコロナ禍感染自粛の中で開催され、大

分県大分支部は、コロナ感染対策協力団体として八名の会員が大分支部の法被を着用して活動に行きました。特に、コロナ感染予防対策班として、会場整理や入り口での検温や消毒の手伝いをして主催者から大変感謝されました。プログラムには、協力者として大分支部が掲載され、会場アナウンスでも善行会が紹介されました。善行会のモットーである「善行はいつでもどこでも 誰にでも」を実践した有意義な活動でした。



## 入会のおさそい

一般社団法人日本善行会では、善行の表彰並びに善行精神の普及と実践を通じ、明るく住みよい社会環境づくりに努めております。活動をご支援いただくために、広く会員をおさそい下さい。

- ① 普通会員 (正会員)
    - 個人 年額 五千円
    - 法人 年額 一万円
  - ② 特別会員 (正会員)
    - 個人 年額 一万円
    - 法人 年額 三万円
  - ③ 賛助会員
    - 個人 年額 千円以上
- ※明るいニュース年間購読料五百円含む